

幼児教育学科

科目名: 教育実習指導 I			担当教員 氏名: 石津、山本、岡野、小川、藤井、宮越		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次 後期	専門科目	演習	選択	幼稚園教諭二種免許状科目(必修)
実務経験を用いてどのよ学校現場における教員経験を活かして、幼稚園教諭としての資質や専門性について、実践的に指導を行う授業を行っているか: う。					
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード
教育実習は、『事前学習』『実習』『事後学習』という流れの中で行われる。1年次の教育実習指導 I では、事前学習として、教育実習の意義、幼稚園教諭や幼稚園の役割、実習計画の立て方を学ぶ。事後学習としては、実習報告書の作成を通して実習の成果をまとめ、各自の課題を整理し2年次の教育実習 II に備える。					・実習計画 ・実習報告書
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 4. 6. 9.	
E 自己管理能力	教育実習 I を通しての自己課題を確認する。				
E 自己管理能力	教育実習に必要な手続きを行う。				
D 問題解決力	教育実習の計画を立てる。				
C 論理的思考力	実習報告書を作成し、各自の課題を整理する。				
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: %	レポート: %	発表: %	実技試験: %	その他: 100 %	
特記事項: 毎回の授業出席を原則とし、やむを得ず欠席した場合は課題を与える。 課題への取り組み、提出物(期限厳守)の内容等で総合的に評価を行う。 本科目では、アクティブ・ラーニングの一環として、グループワークでの指導案作成やそれに基づいた模擬保育を行う場を積極的に取り入れる。					
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> <u>プレゼンテーション</u> 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 提出レポートや指導案にコメントを記載して返却					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
① 幼稚園、教育実習の意義、実習生の役割について			【復習】①の復習	60分	
② 外部講師による特別講義(実習生に期待すること)			【復習】②の復習	60分	
③ 実習計画の立て方について			【復習】③の復習	60分	
④ 実習指導案の書き方について			【復習】④の復習	60分	
⑤ 実習指導案の作成			【復習】⑤の復習	60分	
⑥ 実習指導案に基づいた模擬保育			【復習】⑥の復習	60分	
⑦ 実習日誌の書き方について			【復習】⑦の復習	60分	
⑧ 教育実習 I の振り返り・実習報告書の作成			【復習】教育実習全体の復習	60分	
使用テキスト:			その他参考文献など: 授業の中で適宜紹介する。 プリントなどの資料を適宜配布する。		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 本科目の単位を履修するためには、全ての授業に出席し課題に取り組むと共に、教育実習 I を履修する必要があります。また、実習を行うにあたって実際に必要なことを学ぶ重要な授業であり、積極的な取り組みが求められます。上記時間外においても、実習内容等に関して予習・復習・準備などに積極的に取り組んで下さい。その他必要に応じて追加授業を行う場合があります。本科目の履修状況によっては、教育実習 I の履修を認めないことがあります。					